

宗像児童相談所 個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	3
施設所管課	財産活用課

令和2年7月

✿福岡県✿

宗像児童相談所 個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対象施設	宗像児童相談所		
所管	総務部財産活用課		
整理番号	3	竣工年	平成30年
所在地	宗像市東郷1丁目2-3		
敷地面積 (㎡)	9,007.45 (宗像総合庁舎敷地内)	建築面積 (㎡)	633.35
主構造	RC (一部S)	延床面積 (㎡)	1,117.74
主要建築物	本館・一時保護所		

(2) 対象施設の活用状況

建物の名称	本館・一時保護所			
棟番・枝番	35	—	1	竣工年 平成30年
建築面積 (㎡)	633.35		延床面積 (㎡)	1,117.74
構造・階数	RC造 (一部S造) 地上3階			
各階面積及び用途				
階別	階床面積 (㎡)	主な用途 (室名他)		
RF	—	運動場		
3F	501.85	事務室、食堂・多目的室・娛樂室、調理室、2人1人部屋等		
2F	576.41	事務室、所長室、判定室、相談室等		
1F	39.48	駐車場 (ピロティ)、宿直室、屋外物置スペース		

宗像児童相談所は平成30年に竣工しました。当所は、中間市、宗像市、古賀市、福津市、宮若市、糟屋郡新宮町、遠賀郡、鞍手郡鞍手町を管轄として、子どもの発達・発育、家出・盗み・暴力、虐待など、18歳未満の子どもの福祉にかかわるあらゆる問題について、相談援助業務を行っています。また必要に応じて子どもを家庭から離して一時保護し、児童福祉施設等への入所措置を行う機能を持ちます。

(3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築2年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

築年数が浅く建物は良好な状態であるため、この計画期間内における改修を行う予定はありませんが、必要に応じて、施設の安全や建築物としての機能を維持するための修繕を実施していきます。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

良好な状態です。

(2) 建物全体の現存率

現存率算定表

施設名称	宗像児童相談所		建物名称	本館・一時保護所				
所在地	宗像市東郷1丁目2-3		棟番・枝番	35	-	1	築年数	1年
建築年	平成30	建築面積	633.35 m ²		現存率	100.0	想定耐用年数	65年
構造・階数	RC(一部S) 3	延面積	1,117.74 m ²					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率		①×②	
構造	躯体	40	RC(一部S)	1	100.0		40.00	
	小計							40.00
主要部 仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト防水	1	100.0		20.00	
	外壁	20	コンクリート打放、複層塗材RE	1	100.0		20.00	
	小計							40.00
電気設備	受変電設備	10		1	100.0		10.00	
	小計							10.00
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		1	100.0		10.00	
	小計							10.00
合計							100.00	

※令和元年施設調査時のデータ

この結果、宗像児童相談所の現存率は、「100.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C (一部S)	100.0	耐震診断による Is 値 ¹	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト防水	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未 満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年 未満
			経年 (新設もしくは改 修後)	経年 10 年未満
外壁	コンクリート打 放 複層塗材 RE	100.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未 満
			漏水の発生・痕跡の有 無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未 満
内壁	石こうボード ビニールクロス 杉板	100.0	劣化	特に問題なし
天井	コンクリート打 放 石こうボード EP 化粧石こうボ ード	100.0		
床	タイル貼り 塩ビシート フローリング貼 防滑シート タイルカーペッ ト	100.0		
建具	アルミ	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設 備	電灯設備 拡声設備 電話設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年 (新設後更新後)	経年 5 年未満
受変電設備	あり	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年 (新設後更新後)	経年 5 年未満
自家発電設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年 (新設後更新後)	—

¹ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
動力設備	—	—	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年未満
その他設備	インターホン TV共同受信 防犯設備等	100.0	経年（新設後更新後）	経年5年未満
空気調和・換 気・排煙設備	空調方式 冷熱源機器 温熱源機器 排煙方式	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年未満
給排水・衛 生・給湯設備	給水方式 給湯 ガス	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年未満
消火設備	消火設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年未満
エレベーター 設備	エレベーター設 備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年未満

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2018	2	新	—	—	—	—	65 年

築年数が浅く建物は良好な状態であるため、宗像児童相談所の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 63 年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築2年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は63年となり、計画期間内に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

また、計画期間内に改修を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

計画期間内に対策費用が発生する予定はありません。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取り組みは以下のとおりとなりますが、取り組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)			計
区分	項目	実施時期			
		令和2年度	令和3～5年度	令和6～8年度	
主要部仕上げ	屋根・防水、内 壁、天井、建具	0	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、 自家発電設備、動 力設備、非常用照 明・火災報知設 備、その他の設備	0	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガ ス設備、空気調 和・排煙設備、消 火設備、エレベ ーター	0	0	0	0
その他	外構	0	0	0	0
	計	0	0	0	0

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。